

# ★「豊中駅前七夕まつり」について考える

今年7月10日に開催された「七夕まつり」は数年ぶりの快晴に恵まれ、お祭を楽しんだ参加者も昨年より多かったようです。まずは関係者の方々の労をねぎらいたいと思います。今年の七夕まつりのポスターにも「ゆっくり楽しく歩きまわれるまちを目指して」のキャッチフレーズが載っていましたが、七夕まつりは一年に一回だけ車に邪魔されない「歩行者天国」です。「ゆっくり楽しく歩きまわれるまちを目指して」誕生した「まちづくり掲示板」の第1号(2009年8月中旬号)・第2号(同9月中旬号)は「七夕まつりを考える」でした。

(当社のホームページの「豊中駅前まちづくりニュース」バックナンバーをご覧ください)

豊中駅前まちづくり推進協議会が発行している「じゃすとナウとよなか37号(1997年9月発行)」には「七夕まつり特集」が掲載されています。その一部を紹介すると「去る7月3日、豊中駅前恒例の「七夕まつり」が開催されました。・・・約5万人という史上最大の参加人員を記録しました。」とあり、新企画として、「大分物産展」、「ジャズライブ」、「看景寺竹とんぼ教室」などの紹介に続き、3ページには「いつもどこかでおまつりがあるまち、楽しくゆっくり歩ける商店街を目指して」と題し「交通調査」と「来街者アンケート」が実施された、とあります。

アンケートの結果の一部を紹介すると、

問)七夕まつりは毎年参加していますか？

答・毎年39.8% 初めて28.3%

問)どんな事があれば良いと思いますか？

答・子供が喜び事、バザー、大道芸、仮装行列、盆踊り、店の数を多く、短冊に願い事を書きたい

問)欲しい施設は？

答・ベンチ、休憩所、トイレ、小公園、ごみ箱、手を洗うところ、駐輪場、ビアガーデン、一方通行、広い歩道

問)七夕まつり以外に通りでイベントをするなら？

答・秋祭り、音楽の祭り、植木市、朝市・夜市、アート展

問. 豊中駅前が毎日七夕まつりのように人が自由に歩けるまちになる事は？

答・賛成84.7% 反対3.7% わからない12.2%



じゃすとナウ 37

このアンケートは大池公民分館、野村證券、大和証券、山一証券、サティ、ライブの協力で実施されたとあります。

現在の七夕まつりとは違い、夕方から夜にかけて開催されていましたので容易に比較する事はできませんが、今後の七夕まつりを継続、発展させるヒントがあるようです。

商業団体が長年担って来られた七夕まつりを地域全体のおまつりにする事、また、

七夕まつりがゆっくり楽しく歩ける商店街・通りづくりを目指すという、しっかりとした目標を持って開催される事が求められているのではないかと思います。みなさんはどのようにお考えでしょう。ご意見をお寄せください。

次号からは七夕まつりを継続、発展させるためのご意見を各方面の方々にお聞きし、お伝えしたいと思います。

## 豊中で楽しめる寄席

第12回 **アイボリー寄席**

前売券はホテル・アイボリー、ジオ鍼灸整骨院 豊中駅前まちづくり会社で販売しています。

2011年

8月23日(水)

午後7時開演 前売券:1,200円 午後3時開演 前売券/1,000円

桂 笑福亭 由瓶 桂 笑福亭 由瓶 桂 雀五郎

講師: 榊原 胖夫氏  
/同志社大学名誉教授・交通経済学

## 「高齢社会における交通政策 ~今後の関西の空港政策はどうあるべきか~」

日時: 2011年8月30日(火) 午後6時半から

場所: ホテルアイボリー 参加費用: 1,000円 ※事前にお申し込みください

今月の川柳

作品発表

弁当の蓋の粒ます口に  
安本重子  
地団もなぐいたすら辺る老いの坂  
千良  
掲載作品にはアイボリー寄席のチケットを2枚差し上げます。  
引き続き皆の手から川柳を募集いたします。締切りは毎月月末で、翌月中旬まで発表します。